

	2014年 10月11日 第666号	JR東海労新幹線関西地方本部 http://www.geocities.jp/jrcu_s_kansai/ 発行責任者 小林 國博 編集責任者 島津 力
-----------------------------------------------------------------------------------	--------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

新大阪駅と大阪（第一、二）運輸所に 掲出されないユニオン情報No.774！

10月3日、「太田聖人さん(51歳)がJR東海ユニオンに加入」と書かれたJR東海ユニオン組織情報No.774が各職場に一斉に掲出されました。ところが、この掲示物、何故か太田さんが在職する新大阪駅と元の職場である運輸所には掲出されませんでした。

ユニオン組織情報によると太田さんは、「衰退していくJR東海労の組織としての行く末に不安を感じながらも、過去からの繋がりや想いなどから脱退を踏みとどまっていた。駅異動後、本当にこのままJR東海労に所属して良いのか？という自問自答を繰り返す日々が多くなった。毎日不安を抱えたままの生活はこれ以上送れない、JR東海ユニオンで自分の人生を考え直そう」と考えて、ユニオン加入を決断したそうです。

しかし、それはまったくのウソです。太田さんは、今までずっと「ユニオンは労働組合でない」と新大阪駅と運輸所で言い続けてきたのです。だから、この掲示物を新大阪駅と運輸所で掲出されるとウソがばれてしまうからこまるのです。その他方で、新大阪駅と運輸所以外の職場はウソが通用すると思ったのでしょうか。ちなみに太田さんが以前に在職していた車両所では、多くの人が「何を考えてんのや！」「よくもそんな事を言えるな！」と言ってあきれいています。

会社の嫌がらせに屈してしまった太田さん

太田さんの脱退の理由は、はっきりしています。太田さんは、2009年に、「運輸系統の社員運用」(還流制度)により運輸所から駅に異動させられました。そして、5年が経過した今年9月に元の職場に戻る予定だったのです。ところが同時期に異動になった他の人は(残留希望者も含め)希望通りになりましたが、この度、太田さんと一緒にユニオンに加入した方の2人だけ希望がかなわなかったのです。明らかに会社による嫌がらせです。

太田さんは、脱退前から「東海労組合員だから駅に異動させられ運輸所に戻れなくなった。俺は組織の犠牲者だ。東海労組合員でいて損ばかりしてきた」などと言っていました。会社は太田さんの言動を把握し駅への残留を決めたと言えます。太田さんは、その嫌がらせに屈してしまったのです。

また、太田さんはユニオン加入の前にJR東海労地区分会の分会長と合って話し合いをするという約束をしました。しかし、その翌朝にはユニオン組織情報で「加入」表明をしているのです。これも人間的に許されるものではありません。